

アセスメントデータ利活用の支援策とは？

研修とフォーマットの工夫で教員の指導意欲を高める

各学校、教員一人ひとりが主体的に授業改善に取り組み、学力向上などの成果が表れつつある自治体は、アセスメントデータの利活用をどのように行っているのか。次ページから紹介する3つの教育委員会の取り組みを整理した。

各学校が学力向上に向けてアセスメントデータを利活用するために、教育委員会が実践するとよいことを、千葉大学の天笠茂名誉教授の提言を基に図1のようにまとめた。

次ページから紹介している事例1～3の教育委員会は、いずれも①の実現に取り組んでおり、児童生徒が

図1 教育委員会が実践するとよいこと

- ①アセスメントデータを活用したカリキュラム・マネジメントを、各学校ができるよう支援する
- ②目的・課題に応じた定量・定性データを収集できるアセスメントや調査を実施する
- ③フォーマットの工夫やICT活用によって、学校が主体的にPDCAサイクルを回せるように支援する
- ④子どもの実態に応じた取り組みができるよう、学校の裁量を尊重する

自ら学習改善ができるよう、④も実践している。具体的にはどのような取り組みなのか、注目のポイントを図2に整理した。

図2 事例1～3 各教育委員会の取り組みの注目ポイント

	事例1 長野県飯田市教育委員会 P.7-9	事例2 三重県四日市市教育委員会 P.10-12	事例3 長野県長野市教育委員会 P.13-15
大方針	データの分析手法を実践的に学ぶ機会を設け、研究主任による各学校の授業改善を後押し	「読解力を育む『20の観点』」で方針を示し、ワークシートやアセスメントで現場を支援	教員のセルフチェックと英語の技能別アセスメントデータの活用で、英語の授業を魅力アップ
課題	「全国学力・学習状況調査」の実施学年以外にも学力調査を導入していたが、実施する学年や学力調査の種類が異なり、尺度がばらばらだった。	「全国学力・学習状況調査」で国語の成績が長年の課題。特に他教科の学力にもつながる説明的文章の読解力は必須だと考えた。	CEFR* A1レベル相当以上を有する中学3年生の割合は、年々上昇していたものの、全国の割合を下回っていた。
追加したアセスメント・調査とその目的 ②の取り組み	市立小・中学校でアセスメントを統一。教員が同じ尺度を基に話し合っ て授業改善に取り組めるようにした。子どもが自分の学力を把握し、学習改善に生かすことも目的。	言語能力を測る検定を追加。検定結果と「全国学力・学習状況調査」の結果との相関分析で、言語能力が国語・数学・英語3教科の下支えになっていることを突き止めた。	英語4技能検定を全市立中学校の3年生に実施。技能別のスコアでは、スピーキングはよい成績だったが、ライティングは生徒の約4割が0点と、課題が明らかに。
教員の指導意欲を高める支援	研究主任会では、全国の平均正答率に届くための「あと1題」を見いだせるよう調査結果の見方を説明。研究主任がそれぞれ見いだした「1問」を共有した。	教育委員会と現場の教員が作成した「読解力を育む『20の観点』」のワークシートを全校に配布。言語能力が向上したかどうかを確認できるようにしている。	事後研修会でエビデンスを基にライティングの課題を説明し、言語活動のよい実践を共有。指導主事が学校を訪問し、教員の悩みを聴く伴走型支援も実施。
学校の主体性を引き出す フォーマットの工夫 ③の取り組み	各学校の研究主任の考えなどをクラウド上で共有。チャットで、各学校の校内研修や授業改善を進捗も含めて共有し、学び合う場を設ける。	「読解力を育む『20の観点』」で、言語能力の育成方針を提示。全教科の教員が言語能力の育成を意識して取り組めるようにした。	目指す授業や評価のあり方を24項目で示したセルフチェックシートを作成。各教員が自身の授業を振り返る機会を設けた。
成果	各学校の研究主任が自校でデータの見方を伝達する校内研修を実施。各教員が分析結果を基に、具体的な授業改善を実践している。	相関分析の結果を伝え、言語能力の育成方法に関する研修会を実施。それらを受け、小・中学校は教科横断的に言語能力の育成に取り組む。	CEFR A1レベル相当以上を有する中学3年生の割合は5割を超えた。ライティングの授業改善を進め、3年後の6割達成を目指す。

※取材を基に編集部で作成。

* ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages) の略称。語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、包括的な基盤を提供するものとして、2001年に欧州評議会が発表。A (基礎段階の言語使用者)、B (自立した言語使用者)、C (熟達した言語使用者) ごとに2レベル、計6レベルが設定されている。